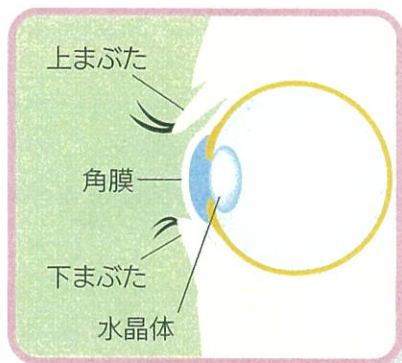


角膜移植って?!

- 角膜は眼球の最前部にある黒目と呼ばれる透明な組織です。角膜の病気としては円錐角膜・水疱性角膜症・細菌・角膜白斑・角膜変性症・ジストロフィ・外傷など様々ですが、このような病気や外傷で白く濁ってしまった角膜を透明な角膜と取り替える手術を角膜移植といいます。
- 角膜が透明であれば、近視・遠視・乱視・老眼・白内障・緑内障・年齢に関係なく献眼ができます。
- 感染の恐れのある病気での死亡の場合は献眼出来ない場合があります。



献眼の流れ



角膜提供者(ドナー)適応基準

移植に用いられる角膜・強膜は、以下の使用禁忌に該当しない提供者によって献眼されたものでなければなりません

一使用禁忌一

- ・原因不明の死
- ・細菌、真菌、ウイルス性の全身性活動性感染症(敗血症など)
- ・HIV抗体、HTLV-1抗体、HBs抗原、HCV抗体陽性
- ・クロイツフェルトヤコブ病およびその疑い
- ・亜急性硬化性全脳炎、進行性多巣性白質脳症等の遅発性ウイルス感染症
- ・活動性ウイルス脳炎および原因不明の脳炎、進行性脳症
- ・Reye症候群
- ・原因不明の中枢神経系疾患
- ・眼内悪性腫瘍(網膜芽細胞腫、癌転移眼)
- ・白血病、悪性リンパ腫(Hodgkin病、非Hodgkinリンパ腫)

提供者の年齢制限はありません

Question & Answer

Q 死後何時間以内なら献眼は可能ですか?

A 6時間~12時間と言われていますが、季節や亡くなられたときの状態も関係しますのでなるべく早目のご連絡をお願いします。

Q 眼球(角膜)を摘出した後は顔が変わりますか?

A 義眼を入れますのでほとんど変わりません。

Q 眼球(角膜)を摘出する以外に何かしますか?

A 移植に使用して良いことを確認するために若干量の採血をさせていただきます。

Q 献眼する際に年齢制限はありますか?

A ありません。

Q 献眼できない場合はありますか?

A いくつかの感染症(エイズ・B型肝炎・C型肝炎・敗血症等)、角膜に影響する一部のガンや白血病等により亡くなられた場合は献眼できません。

Q 献眼したら謝礼はありますか?

A 眼球(角膜)提供は善意に基づく無償の提供ですので謝礼は出ませんが、厚生労働大臣から感謝状が贈呈されます。